



仙台市立鶴が丘小学校  
生徒指導通信  
令和3年7月12日  
第2号

# ふわふわ通信

## 第1回 いじめアンケートの結果



6月8日に第1回いじめアンケートを行いました。今回のアンケートは、令和3年4月からアンケート実施日までの間にいじめられた児童について調査しました。以前のふわふわ通信でもお知らせしましたが、アンケートで「いじめられたことがある」にチェックされた案件については、被害児童、加害児童、双方の聞き取りから指導、保護者連絡まで、すべての案件について行っています。

なお、どの案件も3ヶ月は経過観察期間とし、その間何もなければ解消となります。  
いじめの集計結果は以下の通りです。

令和3年度 第1回いじめアンケート結果（回答児童281名 未回答1名）

- 4月から今までの間にいじめられたことがありますか。
  - ◆ ある16名（男子8名・女子8名 : 1～3年生11名 4～6年生5名）
  - ◇ ない265名
- いじめは今も続いていますか。（16名中）（6月8日時点で）
  - ◆ 続いている8名（男子5名・女子3名 : 1～3年生7名 4～6年生1名）
  - ◇ 続いていない8名
- 誰からいじめられましたか。（16名中）
  - ① 同じクラスの人15名 ② 同学年の別なクラスの人1名 ③ 他の学年の人0名
- どんないじめを受けましたか。（複数回答：計21回答）
  - ① 冷やかしかからかい、悪口・・・9名
  - ② 軽くぶつかられる、なぐられる、けられる・・・3名
  - ③ 仲間はずれ、無視・・・4名
  - ④ 嫌なことや恥ずかしいこと、危ないことをさせられる・・・0名
  - ⑤ 自分のものをかくされる、よごされる、こわされる・・・1名
  - ⑥ お金や自分の物をとられる・・・0名
  - ⑦ ひどくなぐられる、たたかれる、けられる・・・1名
  - ⑧ インターネット・ゲーム・・・1名
  - ⑨ その他・・・2件



今回のアンケートで、いじめを訴えた児童は16名でした。いじめの内容は、「冷やかしか、悪口」が一番多く、次いで「仲間はずれ、無視」でした。悪口を言った方は、軽い気持ちで言ったことが、受け取る相手は思った以上に傷つくことがあります。また、相手にやられたので、やり返すなど、けんかをした双方が「いじめ」と認識することもあり、被害児童と加害者がお互いに「いじめられた」と訴えているケースもありました。

どのケースでも、相手が嫌がることは、どんな理由があってもしてはいけなさと指導しました。今後も「いじめをしない、させない、許さない」を徹底し、いじめのない学校をめざしていきたいと思います。



## 震災復興プロジェクト

「仙台市内全小中学校・中等教育学校・特別支援学校の児童生徒及び教職員が、保護者、地域住民、関係機関等と連携し、さまざまな活動を行うことにより、震災の経験や復興に向けた取り組みを語り継ぎ風化させない意識の高揚を図るとともに、児童生徒が将来に渡って地域社会に貢献する気持ちを育む」ことを趣旨とし活動を行っています。

令和元年までは、教育委員会主催で、仙台七夕まつりに向けて市内全校で折り鶴を折り、一番町に七夕飾りを飾りました。しかし、コロナの影響もあり、昨年からのこのイベントが中止となっています。七夕飾りは実施しないものの、震災の記憶を風化させないためにも、各学校で「震災復興プロジェクト」を行うこととなりました。

令和3年度は「星に願いを～伝える感謝 つながる思い～」がテーマです。本校では、各学級ごとに、震災と復興について振り返り、毎日何気なく使っている水や電気など、あたり前の生活に感謝する気持ちを学習しました。そして、短冊に願いを書き、廊下に掲示しました。これからも震災復興を忘れることなく、語り継いでいきたいと思えます。



## 遅刻していませんか？

鶴が丘小学校のルールでは「8時25分までに、授業が始められるようにしておく」ことになっています。つまり、教室に入っているだけではなく、朝の準備も終わっていないければなりません。

7月5日（月）から7月9日（金）まで、各学級で遅刻チェックを行いました。遅刻した児童には担任から声掛けを行っています。社会に出ても時間も守ることは重要なことです。その一歩として、遅刻をしないようにご家庭でも、ご協力をお願いいたします。



## 交通事故防止のために

登下校の様子を見ていると、車道にはみ出したり、ふざけて歩くなど、危険な歩き方をしている子供を見掛けます。地域の方からも子供たちの歩行が危ないと学校に連絡が入っています。また、放課後の地域内での様子についても路上でキックボードで走っている子や自転車でスピードを出している子など、大人がしっかり指導していく必要があります。もうすぐ夏休みに入りますが、児童の命を守るためにも交通ルールを守るようご家庭でもお子さんにお話してください。

